



探究ニュース Access No. 24

発行日 令和4年12月21日

目次

- I 「日本学術会議公開シンポジウム」鼎談報告
- II 47期探究基礎（B探究）中間発表
- III イベント報告！
- IV イベント参加者募集！

I 「日本学術会議公開シンポジウム」参加報告

この日(11/19)のテーマは、「人類学者と語る人間の『ちがい』と差別」

近年、日本社会の多様化が進むなかでも、外見や出自、性別等による差別がさまざまな問題を引き起こしています。人間の「ちがい」と思われているものの実体は何か、偏見や差別を乗り越えるためにどのような知識と意識が武器となりうるのか、本校の生徒10人を含む高校生たちが、自然人類学者、文化人類学者とともに考えました。

「パネリスト」として参加した2年1組福井翔陽君にインタビュー

★どんな内容でしたか？

山極寿一先生や竹沢泰子先生などの人類学者などの権威の方々が主催するシンポジウムです。また、自然人類学と文化人類学という2つの視点から現在、社会で起こっている性別、肌の色、出自、民族の違いによる差別をなくすためにはどのようなことをしていくべきなのかを私達高校生と大学の先生とともに考えていくというシンポジウムです。

シンポジウムは二部制になっており、一部では5人の大学の先生による講演してもらい各先生方の意見を知るといものでした。二部では大学の先生と高校生によるパネル・ディスカッションを行いました。ここで私はパネリストとして都立西高校の生徒の方と参加しました。

★参加したきっかけを教えてください！

私は、世界全体でも問題になっているさまざまな差別について少し知識はあったものの、それについて深く考えたり、私達にできることはなにかなどは考えていませんでした。しかし、この社会で生きていく中で必ずこの差別などと向き合うことは必ず起こることだと思っており、いま高校生のうちに大学の先生の話聞いて自分の意見を伝えてみたいと思い参加しました。

★どんなことを知る事ができましたか？

このシンポジウムに参加する前までは差別というものはいけいけないものであり、それをなくしていくことによって人々みんなが幸せになれるのだと考えていました。ですが大学の先生は、ひとによって違いが生まれることは当然のことであり、それを是正していくということもおかしいのではないかと考えていました。私達の祖先であるホモ・サピエンスが世界に進出していくなかで、その環境に適応し、進化していくことは当然であり、その結果として皮膚の色がちがったり文化が違ったりすることになるのだ、という考え方には納得させられました。

しかし大学の先生がおっしゃっていた、そこで人々によって違いが出るからと言って優劣をつけてしまうことによって差別ができてしまうのだということにも驚きました。区別と差別は違う。区別を誤ってしまうことによって差別が生まれてしまうのだという考え方を得ることができてとてもよかったです。グローバル化していく社会で私達は必ず文化、国籍の違う人と関わっていくとおもいます。大学の先生方の考えも踏まえて、私はそのような人々と関わっていくときに、心を開けて、偏見や差別をしないでコミュニケーションできるようにしていきたいです。



日本学術会議の先生方と。

Ⅱ 47期探究基礎(B探究)中間発表

12月12日(月)、1年生(47期)が、B探究(課題探究プロジェクト)中間発表を行いました。

B探究は、1学期のA探究の学びを経て、2学期から開始した、より専門的な探究にチームでチャレンジするプログラムです。今年度は10のプロジェクトがあります。この発表では、今の時点での「課題設定」と、その理由や根拠を聞いてくださる皆さんにプレゼンテーションします。もちろん、発表会の運営はプロジェクトリーダーを中心に進めます。

中間発表は、自分が所属するプロジェクトの仲間のみならず、2年生にも発表を聞いてもらい質問を受けます。

2年生は、昨年度自分が所属していたプロジェクトを中心に発表を聞き、「発表のしかた」「課題設定のしかた」などを中心にアドバイスします。

☆プロジェクトリーダーによる、プロジェクトの内容紹介☆

プロジェクトの名前	発表場所	プロジェクトの内容紹介
1 生物探究プロジェクト	1-1・1-2	「こんにちは。生物探究プロジェクトです！このプロジェクトでは、生物の仕組みやカタチについて多面的な見方を通して各グループがそれぞれの課題に取り組んでいます。「毎日が生物学！！」、それがモットーです！！」
2 政治とメディアとデモクラシープロジェクト	社書室	「こんにちは。政治とメディアとデモクラシープロジェクトです。私たちは『流言のメディア史』という書籍の文章購読を行い、そこからまずは個人で新たな問いを立てています。流言とはデマのこと。数々の嘘はなぜ広まってしまうのか、一緒に考えてみませんか？」
3 生態心理プロジェクト	特別	「生態心理プロジェクトでは「アフォーダンス」という考えを用いて、物や環境が人の行動に与える影響について、それぞれが「身近な疑問」や「生活にどう活かせるか」など、異なるテーマについて探究を進めています。」
4 ゲーム理論プロジェクト	2-6・2-7・2-8	「ゲーム理論プロジェクトです。ゲーム理論とは、二人以上のプレイヤーが相互の利益やリスクを考慮したうえで最適な行動や意思決定を分析する理論です。このゲーム理論を用いて日常の様々な問題を考えます！ぜひ来てください！」
5 オープンデータプロジェクト	1-7	「こんにちは。オープンデータプロジェクトです。このプロジェクトでは、インターネット上に公開されているオープンデータを利用して新しいサービスを作っていく予定です。今後にご期待ください！」
6 医療機器と病気の早期発見・早期治療プロジェクト (内視鏡プロジェクト)	1-6・1-5	「内視鏡によるがんの早期発見・早期治療プロジェクトです！私達は「内視鏡」をテーマに、がんという大きな課題に対する解決方法を探究しています。私達の探究を通して、皆さんも是非がんへの興味と関心を深めて下さい！」
7 超小型衛星プロジェクト	2-4・2-5	「衛星といえばまず思いつくのが「ひまわり7号」などの大型の気象衛星でしょう。しかし、地球の周りには民間用の小さな衛星がたくさん飛んでいるのです。私たちは小型衛星の力で社会問題を解決する糸口を紹介します。」
8 まちづくりプロジェクト	1-3・1-4	「まちづくりには「大人になっても住み続けたい街を提案しよう」というテーマを軸に、子育て、交通、治安と空き家、若者定住の四部門を設け、京王電鉄や市の方々から助言を受けながら日々探究しています。」
9 地域医療	1-8	「地域医療プロジェクトでは、高齢化が進むにつれてあるべき医療体制とはなにかをテーマに各チームがそれぞれ課題を考え探求を進めています。日本の大きな問題の高齢化と医療を関連付けて一緒に考えてみませんか？」
10 英字新聞プロジェクト	2-3	「こんにちは。英字新聞プロジェクトです！私たちは新聞社の方のご指導の下、本格的な英字新聞を制作中です。皆さんに興味を持ってもらえるよう、綿密な編集会議を重ね楽しみにしててください！」



↑オープンデータプロジェクト

発表の最後には、講師の先生(日本オラクル)から、課題を解決に際して、データを組み合わせる方法を教えていただいています。

政治とメディアとデモクラシー → プロジェクト

発表会場は社会科書道室。それぞれのチームに分かれて、発表します。



←政治とメディアとデモクラシー

各班でタブレットを使って、説明しています。オーディエンスのみなさん、真剣に聞いてくださいますね！

生態心理プロジェクト →

発表会場は特別教室。こちらはA~Gチームが順番に発表します。大きな教室での発表は、今回が初めて。課題もありますが、次の発表に向けて貴重な経験ができました。



中間発表のテーマを一部紹介します！

- 生物探究
 - ・血液と生態環境
 - ・鱗翅類の変貌
- 生態心理
 - ・ユニバーサルデザインではどのようにアフォーダンスを与えるのか
 - ・音楽はどのようなアフォーダンスを与えるのか
- ゲーム理論
 - ・大富豪における最善手
 - ・フェアトレードの日本で購買意欲を改善するための改善策は何だろうか
- 内視鏡によるがんの早期発見・早期治療
 - ・内視鏡検査や治療をより身近なものにするためにはどうしたらよいか
 - ・ペットの癌に内視鏡を応用できるのか
- 超小型衛星
 - ・衛星を利用した通信環境
 - ・衛星カメラを使い継続的に観察し、環境問題を解決する
- まちづくり
 - ・子育てに適したアットホームな地域に
 - ・これから就職・転出する人をどう止めるか
- 英字新聞
 - ・高尾山の取材計画
 - ・養蚕の取材計画

～中間発表を通して、印象に残ったやりとりを教えてください～

【地域医療プロジェクト】

- ・地域医療のグループだった先輩が去年の経験を活かして私たちにアドバイスをくれたこと。
- ・普段使わない言葉であったり専門的な言葉であったりすると、なかなか理解が進まないことがあるとわかったので、今後の探究でまとめるときに気をつけていこうと思った
- ・初めは若者にフォーカスするという内容だったが、最終的には高齢者へのフォーカスとなっているのではないか？という質問

【生態心理プロジェクト】

- ・特に「アフォーダンス」は初見で聞く人にはとても分かりづらいため、具体例を提示することで論全体がわかりやすくなるのではないかとアドバイスもらった

【ゲーム理論プロジェクト】

- ・有価証券報告書からケータイ電話会社の売上を引用したが、それは携帯の契約による利益だけを意味しているものではないのでは、という指摘を受けた。確認し、適切なデータを示したい。
- ・渡辺先生の助言で、プレイヤーを性格などで細かく分類してやっても良いと聞き、参考になった。

【医療機器と病気の早期発見・早期治療プロジェクト】

- ・内視鏡に辛さがうまれるなら麻酔を打てばいいのではないかという質問を頂いた。今まで考えていなかった意見だったので、参考にして探究していきたいと思った。

【政治とメディアとデモクラシープロジェクト】

- ・流言の拡散に関連して人々の承認欲求があるとしたが、悪意のあるものだけでなく、自分の持っている情報を役立ててほしいという善意からもデマが広まってしまうことがあると分かった。また、流言の拡散にはその時々の人々の心理状態も関係していると分かり、時間があれば調べてみたいと思った。



【オープンデータプロジェクト】

- ・自分たちの発表後に先輩にただ平均を集めるのではなく、自分とより似た人、例えば同等の偏差値の人と比べた時の勉強時間は、などと理想値を出すことも大事だというアドバイスもらった。また、平均値があてにならないこともあるから中央値や最頻値などの他の代表値を活用することが大事というアドバイスもオラクル社の方からいただいた。

【まちづくりプロジェクト】

- ・家賃の問題に対して、実際に若者を対象に行われている政策について教えていただいたこと
- ・全く違う観点からアプローチしているように見える二つのプランに対して、それらを関連付けて考えてみては、とアドバイスもらった。目から鱗だった。

【生物探究プロジェクト】

- ・粘菌の春のときと冬のときで結果が異なるのではないかな？
- ・蚕とほかの動物を比較したり、身近にある植物の染色体を使って蚕と似たタンパク質が作れないかなど新たな探究方法を考えられた。



～印象に残った発表やアドバイスをやりとりを教えてください！～

☑まちづくりプロジェクト

子持ち家族のためのまちづくりが印象的だった。保育園で先生が園児を遊び場に連れていくことがあるので、保育園からも距離が近いところに遊べる公共施設を設置することも視野に入れた方がいいと思った。

☑オープンデータプロジェクト

Oradeさんのアナリティクスツールを使わせて頂けると思うのですが、その際ツール上のマップを使うことになります。設置場所を地図上に…というグループがいらっやっと思ったと思いますが、緯度経度などの記載があるオープンデータを見つけて来る必要があるので、その点は留意しておいたほうがいいかなと思います。



☑生態心理プロジェクト

参考文献を熟読しており、多角的な視点から考察を行なっている。声の小ささとスライドの見づらさが気になった。

☑ゲーム理論プロジェクト

まず何のゲームを扱うかを提示しそのゲームの定義を説明してから自分たちが扱う内容を言った方がいいのかなと思った。あんまり馴染みがないものだからゲーム理論とは、みたいな説明をいれてもいいと思った。

☑生物探究プロジェクト

外来種のカメが日本にて多く発見されている問題について探究するチームの発表が印象的でした。外来種の生物が日本に入ってくることで生じる問題、外来種に対して市などが今行っている取り組み、外来種を私たちが見つけた場合の対処の仕方などをより具体的に探究していくと、よりよい発表になると思いました。



III イベント報告！

●都市農地de伝統野菜プロジェクト

着々と名物になりつつある「八王子東たくあん」。材料となる大根は、地域の伝統野菜である高倉大根です。近隣で都市農地を営む農家の方と連携して、畑の一面をお借りし、種まきから間引き、収穫、加工まで一貫して体験します。

12月11日(日)収穫しました！12月19日(月)は、いよいよ漬け込みです！

収穫



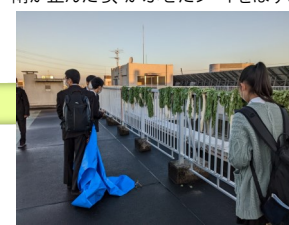
屋上に干しています



完成まで楽しみですね



雨が止んだら、かぶせたシートをはずしたり…



完成まであと少し！

☆メンバーにちょっとインタビュー☆

Q: 屋上のだいこん、昨日、見に行きましたね。どうでしたか？

A: お店に売っているたくあんしかみたことがないから、大根と完成品の間がどうなっているのか見てみたかったです。

A: だいこんが干されて、2~3日経つのですが、どうなってるのか気になって。さわってみたら、まだぷにぷにしている…あと1~2日くらいかかりそうです！

●科学の甲子園 (11/13) 『東京サイエンスフェア』 (11/27) 参加報告

科学の甲子園は、科学分野に興味をもつ都内の高校生が理科、数学、情報における筆記競技と、実技競技(今年は反転機構のウィンドカーの作成)を通して、科学の裾野を広げることを目的とした大会です。

TOKYOサイエンスフェアは、科学の甲子園の表彰と化学分野の研究発表及び英語による口頭発表です。

今年も、本校の自然科学部の皆さんが参加しました！

自然科学部の皆さんの感想

他校の研究について見る・発表を聞くことができ、化学への興味が一層深まりました。

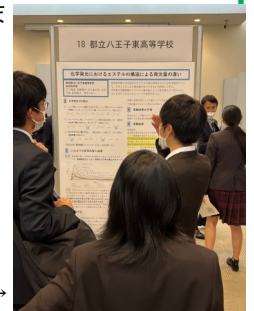
科学の甲子園では、参加した部員たちで役割を分担し、分からない部分の知識を共有することで、うまく協力できました。

サイエンスフェアのポスター発表については、相手に伝わりやすいよう、言葉を選んで発表しました。

反省としては、表や実験の内容について、回答できなかったことが多くありました。

それが悔しかったので、今後同様に発表の機会があったときに受け答えができるよう、読み直し、学び直しを大切にしたいです。また、発表用の実験について、人の集まりが悪く取り組みが遅くなってしまい、時間に余裕がなかったことで満足のいくデータがとれなかったように思っています。自主的に探究できるようなテーマ設定、予定づくりを心がけたいです。

ポスター発表のようす→



IV イベント参加者募集！

●八王子市高校生政策提案発表会

2月12日(日)八王子クリエイティブホールにて、開催します。

八王子市の高校が合同して地域の課題解決プランを提案！3年目の今年はホールを貸し切って実施します。

●東京都立大合同発表会

1月18日(土)13:30~16:50

オンライン形式で都立高校や神奈川県の高中生が探究活動の成果を発表します。本校からも2年生が探究Cを生かして参加予定です。発表者以外もオーディエンスとして参加できます。

